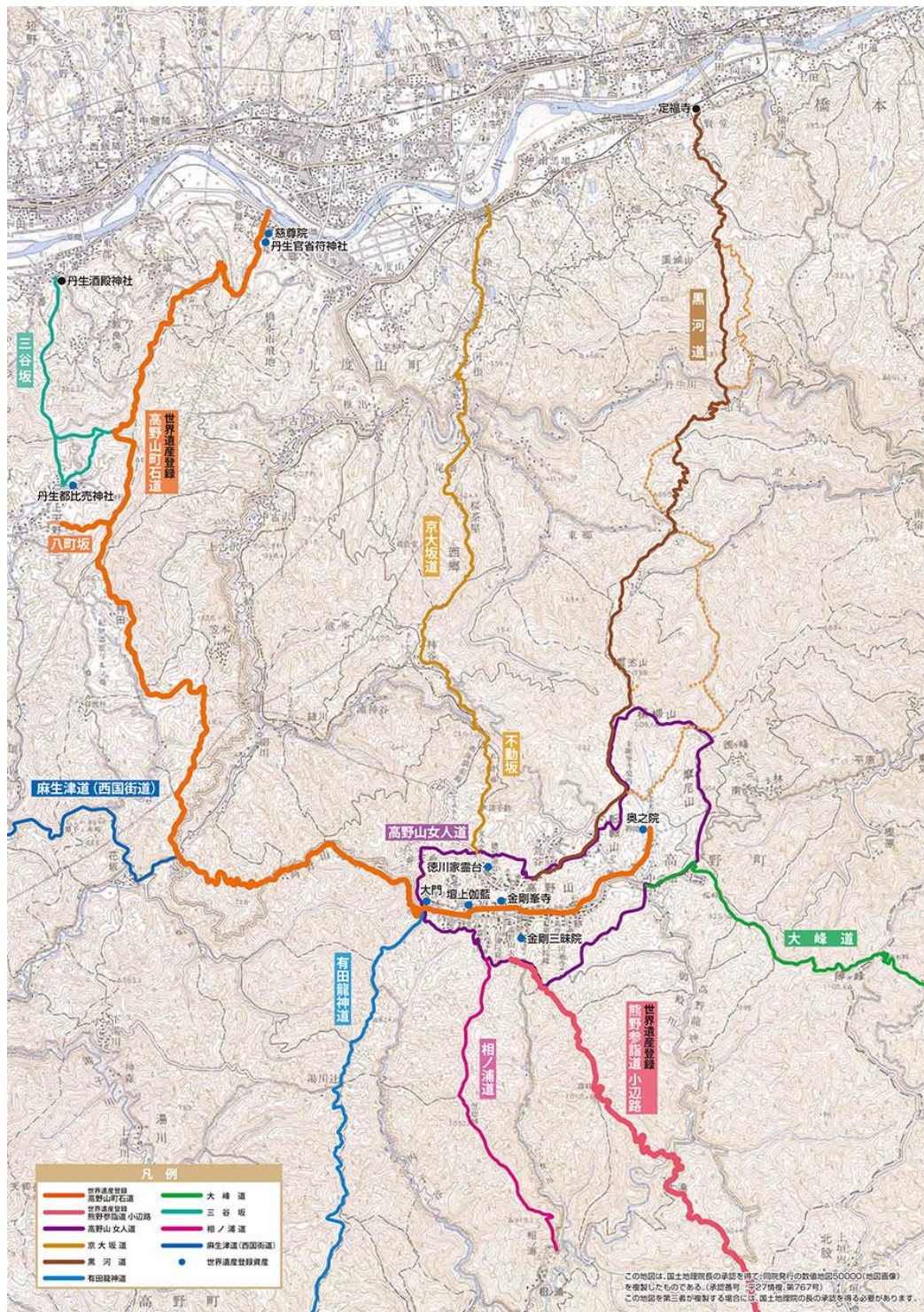


## 高野山七口の紹介

山歩き部会の11月度例会は、高野七口の一つ、町石道の後半でした。高野七口について紹介します。高野七口とは、各地から高野山へ向かう七つの道（町石道・京大坂道・黒河道・小辺路・有田竜神道・相ノ浦道・大峰道）を言います。大阪方面からの道は、町石道・京大坂道・黒河道の3つです。他の4つは、和歌山・奈良方面からの道です。





## 1. 町石道

弘法大師が高野山開山の折、木製の卒塔婆を立てて道しるべとした道として知られています。今の町石は、高さ3メートルを超す五輪塔形の石柱で、出発点の九度山・慈尊院から目的地の壇上伽藍・根本大塔まで180基（1町は、約109メートル）立てられています。町石道は、九度山駅から根本大塔まで約21Km、歩行7時間のコースです。

コース：久度山駅→真田庵→慈尊院→展望台→六本杉→古峠→二つ鳥居→笠木峠→矢立→大門→根本大塔



慈尊院



町石道の基点 180 町石



六本杉



笠木峠



二つ鳥居



大門



大門



根本大塔

このコースは長いので、古峠から上古沢駅に下り、別の日に同駅から古峠に登り、続きに行く、「2回に分ける方法」がありますが、後半の上古沢駅は山の中腹にあり、一度道路を下り、古峠に登るため、標高差が400メートルほどあり、あまり楽なコースとは言えません。なお、今回例会の矢立・紀伊細川駅で区切るの、一般的ではありません。

## 2. 京大坂道

大阪方面からのルートで二番目に人気のあるコースです。学文路駅から出発し、高野山・女人堂までの約10Km、歩行時間は約4時間のルートのため手頃です。コースの途中に、「日本最後の仇討ち墓所」を通るなど史跡もあり、終わりに赤い「極楽橋」を渡り、ケーブルカーの横の不動坂を登っていくのは、いよいよ高野山に入るとの意識が高まり、一度は歩きたい道です。このコースの難点は、前半が長い林道歩きと、高低差200m程度のアップダウンです。後半は、楽しいコースで、来年度は、このコースを計画したいと思います。

コース：学文路駅→刈茅堂→西光寺→大師の硯石→丹生神社・白輪寺→二里石・千石橋→西郷集会所→日本最後の仇討墓所→旧白藤小学校\*1→一里石→極楽橋\*2→清不動堂→不動坂口女人堂（途中\*1で紀伊神谷駅、\*2で極楽橋駅にエスケープできる）



学文路駅



西光寺





案内版は分かりやすい



千石橋



極楽橋・不動坂



極楽坂付近の紅葉



清不動堂



不動坂女人堂

### 3. 黒河道



三つのルートの中では、町石道と同程度に距離が長く、時間がかかる道です。さらに、人気が無いので、あまり整備されていない道です。橋本駅から高野幹部交番まで18Km、歩行時間は6時間です。11月にトライしましたが、出だして「土砂崩れで不通」の看板があり、う回路探しに時間を要し、さらに林道と黒河道がところどころで合流し、次の黒河道に入る分岐の表示が小さくて見逃してしまい、かなりロスをしました。今年は、コロナのために、ボランティアの人達の草刈りがあまりされておらず道が荒れて分かりにくい状態でした。このため、中間地点の玉川峡を過ぎた「桂の木表示板」への到着がコースタイムより40~50分オーバーとなり、ここで断念し引き返しました。このコースは、ゴールまで行くか、スタートまで戻るかのどちらかで、途中ではエスケープできません。前述の「桂の木表示板」付近は、ミカンや柿の木が植わった山道で、地元の農道は草などが刈り取られ歩きやすいが、黒河道は草が茂って荒れており、間違っすぐに農道に入ってしまう、ことも引き返した原因の一つです。黒河道をトライする方は、昼の時間が長い春から初夏にかけて行かれることを薦めます。

コース：橋本駅→定福寺→明神ヶ田和→市平橋（玉川峡）→桂の木表示板→お社→九度山森の童話館→茶堂跡→子継峠→黒川道口女人堂→高野幹部交番



黒河道スタート地点



一応表示板はある。

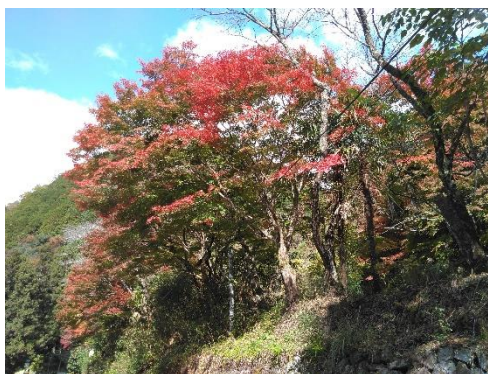


わらん谷の滝

玉川峡で県道に合流



玉川峡・市平橋



紅葉

#### 4. 小辺路

熊野古道は、和歌山方面から紀伊路、中辺路を通り熊野本宮につながっていますが、高野山から熊野本宮につながる道が「小辺路」です。険しい山道を行くので、山歩きの縦走と同じです。高野山を朝に出発して、その日は大股に宿泊しますが、高野山の千手院から大股までは、約19Km、歩行5時間です。

コース：千手院→高野竜神スカイライン合流→水が峰分岐（標高1070m）→東屋→平辻→大股（標高600m）

翌日は、大股から叔母子岳（標高1344m）を通り、五百瀬へ、翌々日は、三浦峠（標高1246m）を通り十津川へ、最終日は、果無峠（標高1114m）を抜けて熊野本宮に達します。毎日、金剛山程度の山に登っては半分下りの繰り返しです。



水が峰分岐



萱小屋